

本時のねらい 名刺交換ゲームを通して、あいさつや自分の名前を言う表現に慣れ親しみ、マナー大切にしながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

本時の展開 ( 3 / 3 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
導入	1.Warm-up ・あいさつをする。Hello / Good morning. ・チャンツ Hello Chant をする。 Hello. × Hello. × My name is ~. × Nice to meet you. × ( ×は手拍子) 2.ALT's Time ・サウジアラビアの衣装や食べ物などについて ALT の話を聞く。 3.Activity ( 評価の観点 ア・イ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 積極的に相手を見つけ、たくさんの仲間とあいさつをしようとしている。【観察】</p> <p>イ 外国語への慣れ親しみ あいさつや名前を言ったり尋ねたりする表現に慣れ親しんでいる。【観察】</p> </div>
課題 展開	<div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;">             あいさつのマナーを大切に名刺交換をしよう。           </div> <p>(1)教師によるスキットを見て、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名刺交換ゲーム              H: Hello.              A: Hi.              H: My name is ~.              What's your name?              A: My name is ~. Here you are. ( 名刺を渡す)              A: Thank you. Here you are. ( 名刺を渡す)              H: Thank you. See you.              A: See you.              ALT は、ボランティアを募り、2 ~ 3 名の児童と名刺交換をする。</p> </div>	<p style="text-align: center;">各過程における配慮事項</p> <p>学習活動 1 について 英語であいさつをし、英語活動を始める雰囲気づくりをする。第 1 時に習ったチャンツを、動作を加えて楽しく行う。</p> <p>学習活動 2 について サウジアラビアの生活習慣について話を聞く。サウジアラビアの衣装や食べ物などについて、制限があることなどについて、拡大カラーコピーやスマートボードなどで生活の様子を示し、児童に分かりやすく話す準備をしておく。写真や知っている単語を手掛かりにして、話の内容を推測できる喜びを感じさせる。</p> <p>学習活動 3 について 教師によるモデルスキットにより活動の方法を示し、物を受け渡しするときの表現 “Here you are.” “Thank you.” を使って活動できるようにする。前もって一人 6 枚程度の名刺を作っておくが、その色を男子と女子で変えておき、2 色のカードを集めるよう意識させると男女関係なく交流できる。活動の途中でコメントを入れることで、積極的に相手を見つけてあいさつしようとしている姿を価値付け、後半の活動につなげる。 実態によって、“I like ~.” の表現を使い、好きなスポーツなどを紹介してもよい。</p>
評価	<p>(2)教師と全体とでペアでやってみた後で、スクランブルで名刺交換ゲームを行う。            (3)活動の半ばに中間コメントを聞き、後半の活動へ生かす。            (4)名刺交換ゲーム終了後、もらった名刺を英語ノート P9 に貼る。</p> <p>4.Evaluation            (1)自己評価をする。            ・進んで相手を見つけて、あいさつをすることができた。            ・英語を使って名刺を渡したりもらったりすることができた。            (2)相互評価をする。            ・ さんとは初めて話したけど、進んで話しかけてくれたのでうれしかった。            ・ さんは、名刺を渡しながらか目を見て “Here you are.” と言っていた。            (3)教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。            ・ さんは、男子女子に関わらず誰にでも、自分から積極的に話しかけていた。            ・笑顔で英語を使って名前を尋ねたり、答えたりすることができるようになってきた。</p>	<p>学習活動 4 について 本時のねらいに関わって自己評価を行い、次時への意欲を高める。相互評価では、友だちのよさを認め合うことで、自分では気付かなかったよいところを知り、コミュニケーションへの自信をもたせる。担任は、積極的に相手を見つけてあいさつをしようとしていた児童のよさを価値付け、ALT は、名刺を渡すときやもらったときの表現をうまく使って対話できていた児童を取り上げ、価値付ける。 中学校へつなげるポイント 相手の目を見て、はっきりとした声であいさつする等のコミュニケーションを図るときに大切なことを繰り返し指導する。</p>